

令和3年3月10日

議員各位

茨城県議会議長 常井 洋治

新型コロナウイルス感染症への対応の徹底等について（再周知）

このことについては、昨年4月以降対応をお願いしているところですが、2月23日に本県独自の緊急事態宣言は解除されたものの、1都3県の緊急事態宣言が延長されるなど、まだまだ予断を許さない状況にあります。

よって、改めて感染防止を図るための対応の徹底について周知いたしますので、特に、以下の点について引き続き留意するようお願いいたします。

- 地域において議員活動を行う際にも、引き続き、できる限りマスク着用の徹底や3密を避けた行動をとること。
- 特に、年度末・年度初めにかけて会食する機会が増える中、会食時の感染例が多いことから、新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言した「感染リスクが高まる5つの場面」に留意して行動すること（別紙参照）。
- 議事堂に登庁する際には、必ず事前の検温を実施するとともに、発熱等の風邪症状が見られる場合には、議事堂への登庁並びに本会議及び委員会等への出席について自粛すること。
- 万一、議員本人が新型コロナウイルスに感染し、又は濃厚接触者であることが明らかとなったときは、「議員が新型コロナウイルスに感染した場合の基本的な対応等について（令和2年4月21日茨城県議会災害対策会議決定）」に基づき、直ちに議会事務局総務課にその旨を連絡すること。

新型コロナウイルス関連通知につきましては、サイドブックに掲載しておりますので、御参照ください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

